

2016年3月期 決算説明会資料

2016年5月26日

株式会社ケアサービス (東証JASDAQ 2425)



- ■P.3 2016年3月期 連結決算概要
- ■P. 1 4 2017年3月期 通期連結業績予想概要
- ■P.18 2015年4月の介護保険法改定(報酬減額)の影響
- ■P.21 中期成長戦略の骨子
- ■P.34 参考資料



2016年3月期 連結決算概要

2016年3月期 実績(15-10-23付 対予想比)



■ 売上高: 対予想比 2.9%超過達成

■ 営業利益: 同 8.8%未達

■ 経常利益: 同 5.7%超過達成

■ 親会社株主に帰属する当期純利益: 同 14.3%超過達成

※ 2016年3月期 2Qより連結決算に移行したため2016年3月期実績と2015年10月23日に発表した 連結業績予想との比較を行っています。

(百万円)	16/3月其	月(連結)	16/3月期	(連結)	対予想比(10/23付)		
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	
売上高	8,063	100.0%	8,299	100.0%	236	2.9%	
介護事業	5,903	73.2%	6,060	73.0%	157	2.7%	
エンゼルケア事業	1,601	19.9%	1,684	20.3%	82	5.2%	
フォーライフ事業	558	6.9%	555	6.7%	△ 3	-0.5%	
営業利益	265	3.3%	242	2.9%	△ 23	-8.8%	
経常利益	241	3.0%	255	3.1%	13	5.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	128	1.6%	146	1.8%	18	14.3%	

2016年3月期 決算サマリ(対前期比)



■ 売上高: 対前期比 8.9%増収

■ 営業利益: 同 104.4%増益

■ 経常利益: 同 119.5%増益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益: 同 260.6%増益

(百万円)	15/3月期(個別)		16/3月期	(連結)	対前期比		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	
売上高	7,623	100.0%	8,299	100.0%	676	8.9%	
売上総利益	1,046	13.7%	1,085	13.1%	39	3.7%	
販売費及び一般管理費	927	12.2%	843	10.2%	△ 84	-9.1%	
営業利益	118	1.6%	242	2.9%	123	104.4%	
経常利益	116	1.5%	255	3.1%	139	119.5%	
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-	
特別損失	18	0.2%	3	0.0%	△ 15	-83.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	40	0.5%	146	1.8%	105	260.6%	

2016年3月期 事業別業績概要



■ 介護事業: 対前期比 8.3%増収 5.5%増益

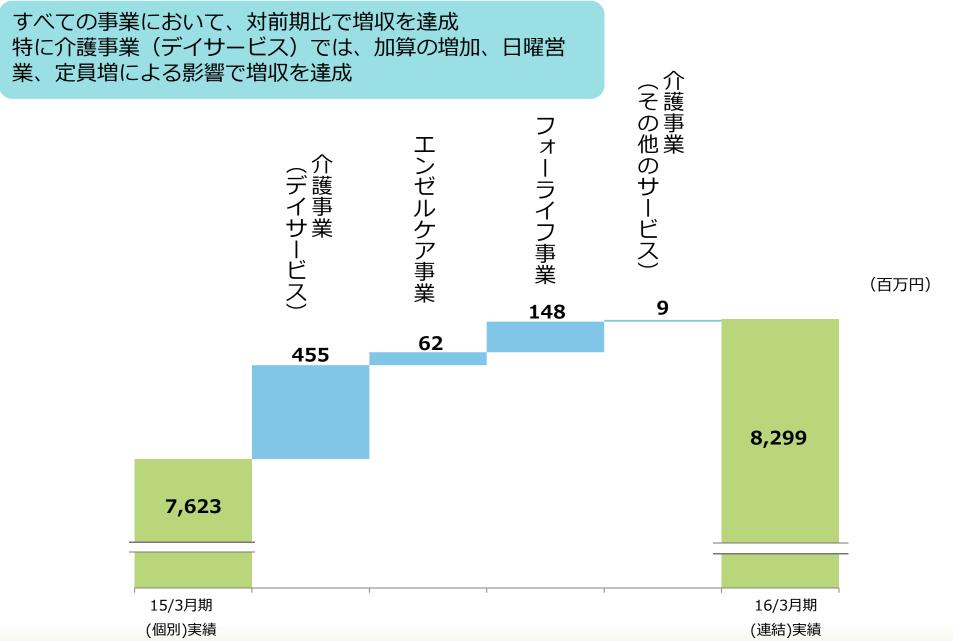
■ エンゼルケア事業: 同 3.9%増収 1.0%減益

■ フォーライフ事業: 同 36.4%増収 116.9%増益

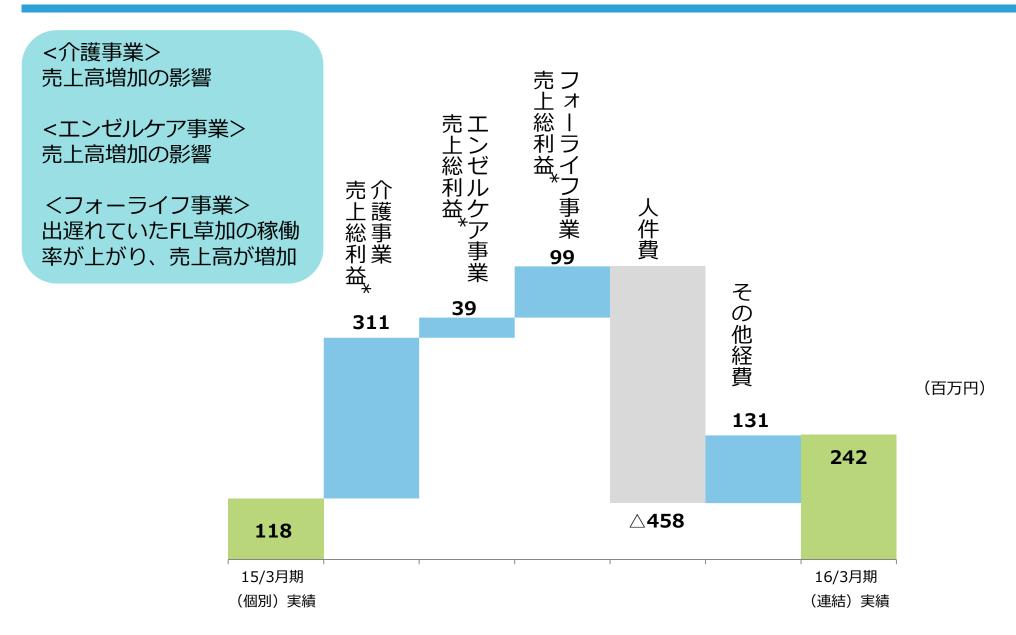
(百万円)	15/3月期	(個別)	16/3月期	(連結)	対前期比		
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率	
売上高	7,623	100.0%	8,299	100.0%	676	8.9%	
介護事業	5,594	73.4%	6,060	73.0%	465	8.3%	
エンゼルケア事業	1,621	21.3%	1,684	20.3%	62	3.9%	
フォーライフ事業	407	5.3%	555	6.7%	148	36.4%	
セグメント利益	828	10.9%	896	10.8%	67	8.2%	
介護事業	451	8.1%	476	7.9%	24	5.5%	
エンゼルケア事業	417	25.7%	413	24.5%	△ 4	-1.0%	
フォーライフ事業	△ 40	-9.9%	6	1.2%	46	116.9%	
調整額	△ 710	-9.3%	△ 654	-7.9%	56	7.9%	
営業利益	118	1.6%	242	2.9%	123	104.4%	

2016年3月期 売上高の増減分析









*注意: 本社人件費を除いた売上総利益額です

2016年3月期末 貸借対照表サマリ



(百万円)	15/3月期末	艮(個別)	16/3月期表		対前期末比
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,904	67.1%	2,057	71.3%	152
現金・預金	592	20.9%	650	22.5%	57
売掛金	1,162	40.9%	1,268	44.0%	106
固定資産	934	32.9%	829	28.7%	△ 105
有形固定資産	396	13.9%	316	11.0%	△ 79
無形固定資産	141	5.0%	131	4.5%	△ 10
投資その他の資産	397	14.0%	381	13.2%	△ 15
資産合計	2,839	100.0%	2,887	100.0%	47
流動負債	1,033	36.4%	1,060	36.7%	27
買掛金	137	4.8%	145	5.0%	7
1年以内返済予定の		0.404		0.00/	
長期借入金	230	8.1%	232	8.0%	1
固定負債	680	24.0%	604	20.9%	△ 76
長期借入金	464	16.4%	418	14.5%	△ 45
負債合計	1,713	60.4%	1,665	57.7%	△ 48
株主資本	1,125	39.6%	1,223	42.4%	98
資本金	205	7.2%	205	7.1%	0
資本剰余金	138	4.9%	138	4.8%	0
利益剰余金	874	30.8%	998	34.6%	123
自己株式	△ 91	-3.2%	△ 117	-4.1%	△ 25
評価・換算差額等	0	0.0%	0	0.0%	0
純資産合計	1,125	39.6%	1,221	42.3%	96
負債・純資産合計	2,839	100.0%	2,887	100.0%	47

【ご参考】自己資本比率の推移

□ 15/3月期末 39.6%

□ 16/3月期末 42.3%



(百万円)	15/3月期 (個別) 実績	16/3月期 (連結) 実績	対前期比増減額
税引前当期純利益	97	252	154
減価償却費	148	142	△ 5
売上債権の増減額	△ 68	△ 106	△ 38
仕入債務の増減額	△ 10	7	18
その他	△ 81	△ 1	80
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	85	295	209
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 184	△ 70	114
借入金の増減額	△ 252	△ 243	8
配当金の支払額	△ 21	△ 22	\triangle 1
その他	△ 127	101	228
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 400	△ 164	235
現金及び現金同等物の増減額	△ 500	57	557
現金及び現金同等物の期末残高	592	650	57

事業別事業所数・人員数の推移



事業別事業所数の推移

(事業所数)	15/3月期					対前期末比			
	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	新規	移転 統合	閉店	期末 事業所数	増減数
介護事業	6	0	0	87	3	6	0	84	△ 3
デイサービス(通所介護サービス)	3	0	0	55	1	3	0	53	△ 2
訪問入浴サービス	0	0	0	14	0	2	0	12	△ 2
その他サービス	3	0	0	18	2	1	0	19	1
エンゼルケア事業	0	0	0	21	0	0	0	21	0
フォーライフ事業	1	0	0	4	0	0	0	4	0

事業別従業員数の推移

(人員数)	15/3月期	16/3月期	対前期末比 増減数
介護事業	954	945	△ 9
エンゼルケア事業	185	207	22
フォーライフ事業	63	65	2
合計	1,202	1,217	15

<16/3月期 新規出店・統廃合店舗>

新規出店

- □ デイサービスセンターコトニア赤羽【15/4】
- □ ケアプランセンターコトニア赤羽【15/4】
- □ 上海福原護理服務有限公司を子会社として設立【15/8】

統廃合

- □ 訪問入浴鶴見→訪問入浴港北と統合し、閉鎖【15/4】
- □ 訪問入浴池上→訪問入浴蒲田と統合し、閉鎖【15/4】
- □ デイサービスセンター桐ヶ丘と東十条を統合し、移転【15/4】
- □ 訪問介護池上→訪問介護蒲田と統合し、閉鎖【15/5】
- デイサービスセンター八幡山を近隣事業所と統合し、閉鎖 【15/8】



- 既存店におけるお客様の増加により、売上高・ご利用件数ともに増加
- デイサービスにおける日曜営業の開始により、売上高・ご利用件数ともに増加

	14/3月期 (個別)実績			15/3月期 (個別)実績			16/3月期 (連結)実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高【百万円】									
介護事業	2,684	2,629	5,313	2,838	2,756	5,594	3,043	3,016	6,060
デイサービス(通所介護サービス)	1,937	1,905	3,842	2,076	2,020	4,096	2,271	2,280	4,552
訪問入浴サービス	513	496	1,009	522	494	1,016	506	467	973
その他	234	228	462	240	242	482	265	268	534
ご利用件数									
介護事業	264,603	258,556	523,159	273,178	262,575	535,753	279,413	276,709	556,122
デイサービス(通所介護サービス)	188,379	185,576	373,955	200,179	194,558	394,737	210,539	210,958	421,497
訪問入浴サービス	37,256	36,070	73,326	37,203	35,198	72,401	35,084	32,431	67,515
その他	38,968	36,910	75,878	35,796	32,819	68,615	33,790	33,320	67,110



介護事業(デイサービス) ご利用件数の推移





2017年3月期 通期連結業績予想概要

2017年3月期 業績予想サマリ



■ エンゼルケア事業・・・エンゼルケア1事業所開設、既存21店舗の稼働率向上を推進

■ 介護事業

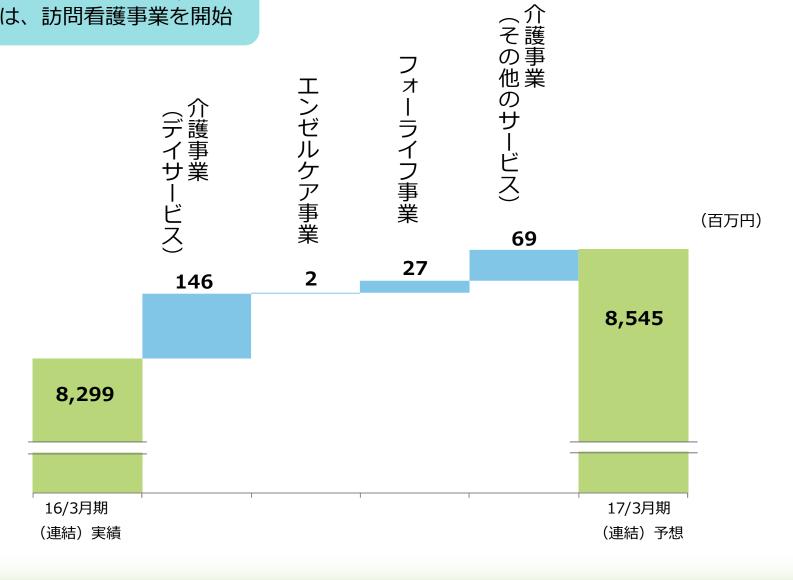
- ・デイサービス1事業所移転予定
- ・デイサービス53店舗の稼働率向上を推進。
- ・デイサービス14店舗で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進
- ・訪問入浴サービス12店舗の稼働率向上を推進
- ・訪問介護サービス3店舗の稼働率向上を推進
- ·訪問看護1事業所開設
- ・中国子会社における介護事業本格化

■ フォーライフ事業・・・既存施設4店舗の入居率向上を推進

	(単位)	16/3月期	16/3月期	16/3月期	17/3月期	17/3月期	17/3月期	対前:	期比
		上期実績 (連結)	下期実績 (連結)	通期実績 (連結)	上期予想 (連結)	下期予想 (連結)	通期予想 (連結)	増減額	増減率
売上高	(百万円)	4,093	4,205	8,299	4,219	4,361	8,581	282	3.4%
介護事業	(百万円)	3,043	3,016	6,060	3,150	3,161	6,312	251	4.2%
エンゼルケア事業	(百万円)	787	896	1,684	791	894	1,686	2	0.1%
フォーライフ事業	(百万円)	262	292	555	277	306	583	27	5.0%
営業利益	(百万円)	99	143	242	115	167	283	40	16.8%
経常利益	(百万円)	103	151	255	113	165	278	22	8.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	60	86	146	64	94	158	11	8.1%
主要拠点数									
介護事業	(拠点)	83	83	83	84	84	84	1	1.2%
エンゼルケア事業	(拠点)	21	21	21	21	22	22	1	4.8%
フォーライフ事業 ※	(拠点)	4	4	4	4	4	4	0	0.0%

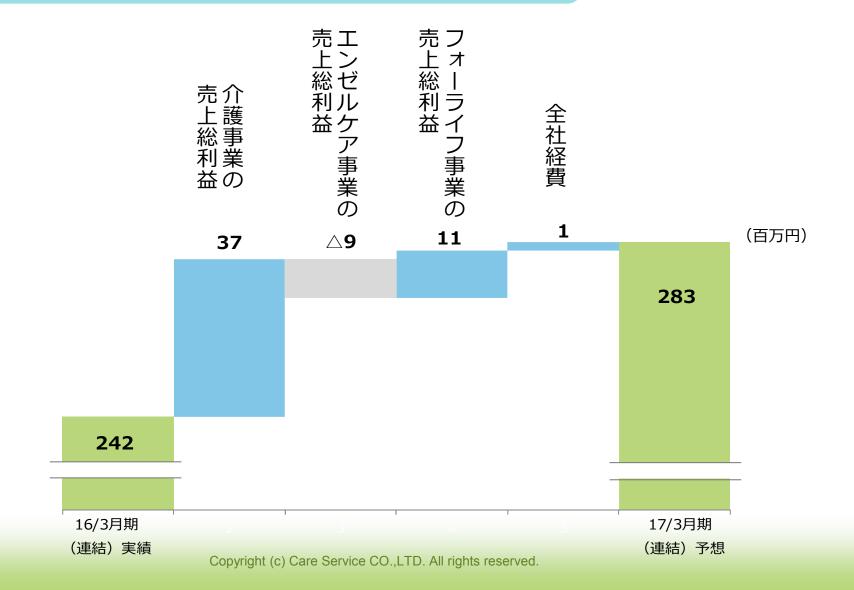


介護事業(デイサービス)では、14事業所で 行っている日曜営業を本格化、介護事業(そ の他のサービス)では、訪問看護事業を開始





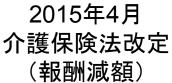
エンゼルケア事業において競争激化による受注単価の引き下げ等の減益 要因はあるものの、介護事業およびフォーライフ事業の伸びにより、増 益を予定。

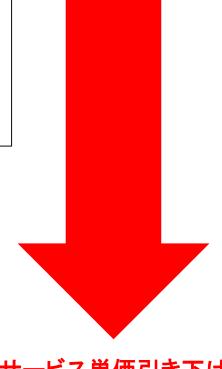




2015年4月の介護保険法改定(報酬減額)の影響







サービス単価引き下げ **-4.48%**

全体で-2.27%の 大幅マイナス改定



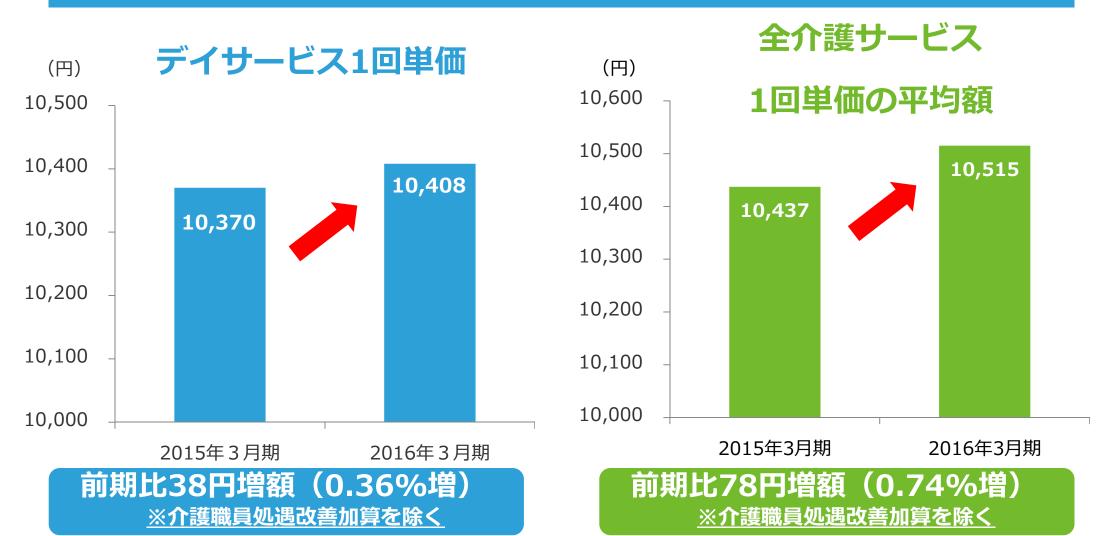
処遇改善 +1.65%



介護サービスの充実に 対する加算等 +0.56%

ほぼすべてのサービスにおいて、介護報酬が引き下げられ、 介護の質向上のための処遇改善や加算については、増額 介護業界全体として、大きなマイナスの影響





当社においては、加算取得および地域区分単価の上昇がプラスに働き、

介護基本報酬減額の影響を打ち消し、介護サービス1回単価が増額!



中期成長戦略の骨子



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化



採算性を重視した展開と訪問看護を加えたドミナントエリアの構築

- デイサービスを中心とした東京23区のドミナントエリア形成を継続して推進
 - ⇒出店コスト・家賃などを総合的に判断し新規出店を慎重に判断する M&A等も選択肢に入れるが、採算性を重視する
- 訪問看護を加え、ドミナントエリアでサービスを拡充
 - ⇒2016年7月に訪問看護事業をスタート予定。介護と医療の連携を意識した 体制をドミナントエリア内で構築する
- ドミナントエリア内で事業所の統廃合や移転を実施
 - ⇒事業所の統廃合や移転により不採算事業所の合理化、人員配置の最適化、 事業所スペースや定員の最適化を図る
 - →2016年8月 デイサービスセンター大森のサービス利用希望が多いため 定員を増やす目的で大森西に移転予定(定員数15名増)



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化



収益性向上への施策例

- デイサービス日曜営業店舗の稼働向上
 - ⇒2015年6月から2016年5月までに開始したデイサービスの日曜営業店舗 14か所において、稼働率の向上を図る
- 事業部毎に新たな加算取得を推進
 - ⇒訪問入浴において、サービス提供体制強化加算を取得予定 (年間20百万円程度の増収予定)
 - ⇒居宅支援において、特定事業所加算を取得予定 (年間20百万円程度の増収予定)
- 「エンディングセミナー」の事業収益化
 - ⇒介護からエンゼルケアまでのサービスを提供している当社の特性を生かし 生前相談・葬儀紹介へとつなげ、事業収益化を図る

•



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化



上海での事業本格化

- 2015年8月8日に中国での日本式介護の提供を目指し設立した「上海福原護理服務有限公司」が訪問入浴介護事業を開始
- 日本及び中国において、当社子会社の訪問入浴介護事業が新聞・雑誌・ウェブ などで紹介され、中国の企業や自治体から引き合いが増加
- 上海養老服務創新実践案例評選(上海市の介護サービスイノベーション実践案評価コンテスト)にて当社子会社の訪問入浴介護が20選に入り、上海老年報(新聞)にて発表される



<u>中国での</u> <u>訪問入浴事業の様子</u>



訪問看護事業開始準備(2016年7月開始を予定)

- 訪問看護事業の開始により、既存介護事業のレベルアップをけん引し、さらに在宅での看取りの実施により、当社の『介護からエンゼルケア』まで、真に一貫したサービスの提供が可能となる
 - ⇒既にデイサービスなどで展開しているドミナント戦略展開エリアに訪問看護 の出店を行い、既存事業との連携を図る
 - ⇒医療と介護の連携がより強化され、既存介護事業とともに活性化を図る
 - ⇒在宅での看取りに取り組み、エンゼルケア事業との連携を図る



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 採用、教育・研修の強化



新卒採用の強化

新卒採用100名目標

⇒2016年4月の新卒社員の入社は43名でしたが、2017年4月入社に関しては、100名採用を目標に採用活動を実施

社長が想いを伝える会社説明会の強化

⇒新卒向けの会社説明会では、当社社長が毎回出席し、自らの想いを伝えるより多くの方に参加いただけるように前期よりも実施回数を増やす

<u>新卒向け会社説明会</u>

•前期実績:25回



•今期予定:45回



<u>2016年4月1日 入社式の様子</u>



中途採用の離職率低減

■ トレーナー研修の強化

⇒全事業所に配置しているトレーナーの研修に注力し、中途採用の方が 不安・不満・不足など感じないようにトレーナーのレベルアップを図る

管理職研修の本格化

⇒エリアを束ねるリーダーや事業所長などのミドルマネジメント層に 向けての研修を本格的に実施し、マネジメント能力の向上を図る



前期のマネジメント研修の様子



ご清聴ありがとうございました。



介護からエンゼルケアまで ~心豊かな人生を、そして感動の旅立ち~ 株式会社ケアサービス



参考資料① 高齢者人口と介護保険法改正の推移

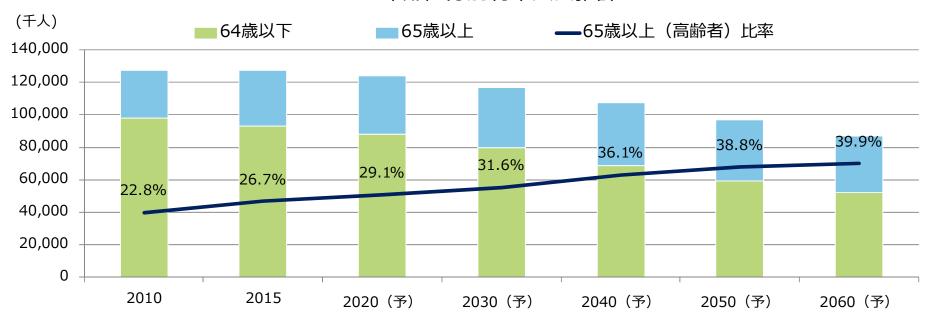


■ 2015年以降、高齢人口が大きく拡大し、2040年時点では、65歳以上の高齢者比率が 35%を超える模様

当社の見方

団塊世代に介護人口が拡大する2015年前後から、介護業者が選択される時代に入り、競争が激化すると想定

年齡区分別将来人口推計



資料:2010年は総務省「国勢調査」、2015年は総務省「人口推計(平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値)」、 2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 2010年の総数は年齢不詳を含む。

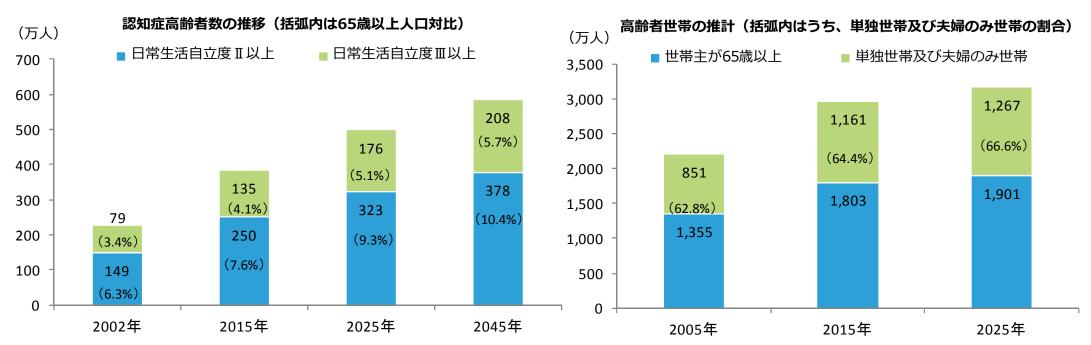
日本の高齢化の状況(人口動態・世帯動向)



■ 75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加し、2055年には25%を超える見込み

	2008年	2015年	2025年	2055年
75歳以上高齢者の割合	10.4%	13.1%	18.2%	26.5%

- 65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加
- 世帯主が65歳以上の世帯のうち、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加



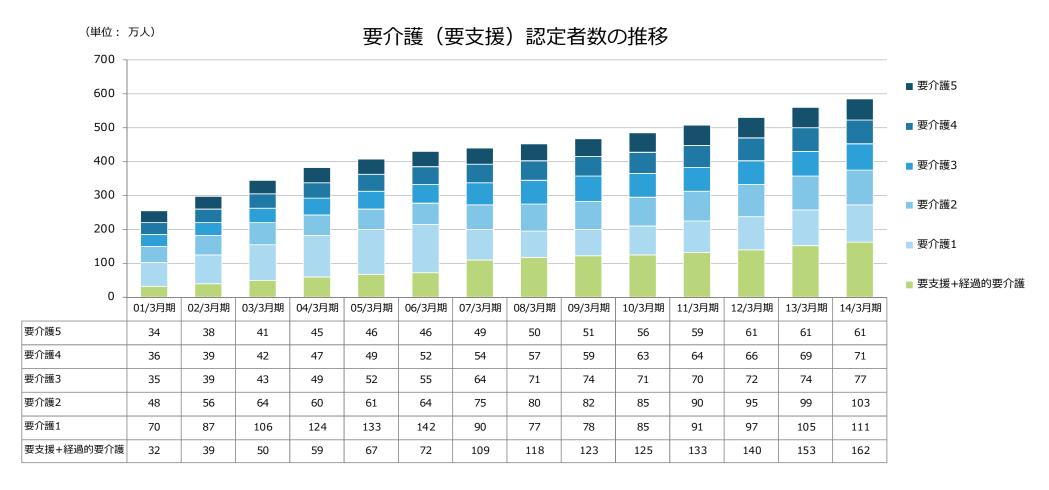
出所:公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

H23年5月18日掲載 国土交通省 「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料 原本学院は大学の表現である。

厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋



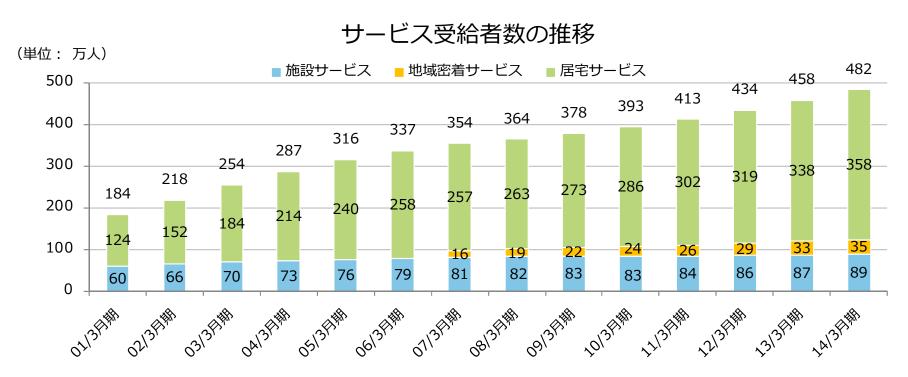
- 高齢化の進展、介護保険制度の浸透に伴い、要介護認定者数も中長期的に拡大
- 一方で、受給者負担増の傾向により、要介護2以下が介護保険対象外になる見通し



出所:平成25年度介護保険事業状況報告



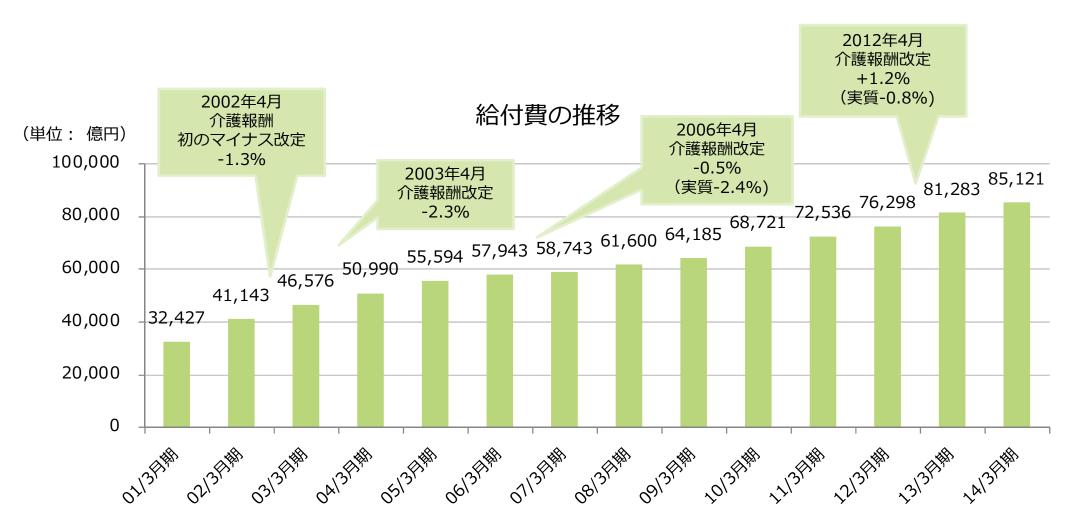
■ 高齢化に伴い、重要度を増す医療連携の居宅サービス、地域密着サービス



出所:平成25年度 介護保険事業状況報告



■ 給付費拡大に伴い、改定に際し介護報酬の引き下げが進む



出所:平成25年度 介護保険事業状況報告を基に作成



サービス種類 ※ 2015年度改正による単価 (単位:円)	1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他
●療養管理 ●福祉用具	10							
訪問介護 ●訪問入浴 ●夜間対応型ケアマネジメント ●介護予防支援訪問看護 ●定期巡回・随時対応型	11.40	11.12	11.05	10.84	10.70	10.42	10.21	
訪問リハビリテーション ●デイケアショートステイ ●認知症デイサービス小規模多機能 ●複合型サービス	11.10	10.88	10.83	10.66	10.55	10.33	10.17	10
 デイサービス ●特定施設 グループホーム ●地域密着特定施設 地域密着特養 ●特別養護老人ホーム 老人保健施設 ●介護療養病床 短期入所療養介護 	10.90	10.72	10.68	10.54	10.45	10.27	10.14	

[※] サービス種類については、介護予防サービスのある居宅サービス及び地域密着型サービスは介護予防サービスを含む。

出所:ワムネット 介護保険事務処理システム変更に係る参考資料を基に作成

日本の高齢化の状況(地域動向)



■ 首都圏をはじめとする都市部における急速な高齢化(65歳以上人口)の進行

都市部における高齢化人口	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	秋田県	山形県	鹿児島県	(万人)
2005年時点での高齢者人口	230	116	106	149	31	31	44	
2015年時点での高齢者人口	306	179	160	218	34	34	48	
増加率	33%	55%	50%	47%	11%	10%	10%	

出所: 東京都を除き、公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

H23年5月18日掲載 国土交通省「サービス付高齢者向け住宅整備事業の募集開始について」に係る参考資料

厚生労働省老健局高齢者支援課作成「介護保険制度改正の動向について」より抜粋

東京都データについては、東京都発行の冊子【人口動向から見た【2020年の東京」】より抜粋

東京23区内 高齢者人口分布

■ 他地域に先駆けて 高齢化が先行する東京23区

> 黄色:65歳以上の要介護者数が多く、 かつ25歳~69歳人口が多い地域

> > 出所: Terra Mapで作成

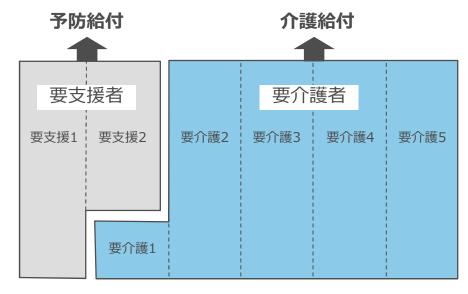




地域における高齢者の自立した生活を目的に、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」実現に向けた取り組みの推進

- 医療と介護の連携の強化等
- 介護人材の確保とサービスの質の向上
- 高齢者の住まいの整備等
- 認知症対策の推進
- 保険者による 主体的な取り組みの推進
- 保険料上昇の緩和

保険給付と要介護状態区分のイメージ



- ・要支援者は予防給付、要介護 者は介護給付とする
- ・給付の効率化の観点から、 要支援者に対する予防給付に ついては、支給限度額、報酬 単価の見直しを行う

現行区分: 要支援 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

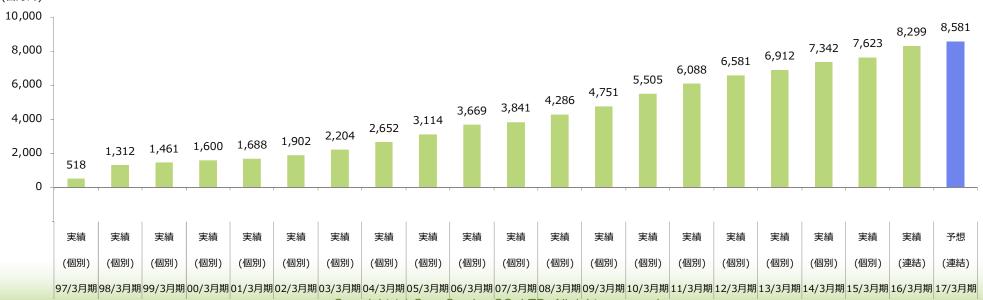
出所: 厚生労働省老健局「介護保険制度改革関連法案 -参考資料-」をもとに、当社にて作成



参考資料② ケアサービスの状況



- 1970年 寝たきり老人などの布団の消毒乾燥を行う寝具乾燥事業で創業
- 高齢者福祉のための介護サービスを目的とした介護部門を創設 1983年
- 葬儀におけるエンゼルケアサービスを始動 1990年
- 訪問介護サービス、訪問入浴サービスのための株式会社ケアサービス設立
- 1992年以降、大田区を皮切りに首都圏を中心に、居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、 サービス付き高齢者向け住宅(フォーライフ)、ショートステイなどを開設
- 中国上海市にて介護事業を行う完全子会社『上海福原護理服務有限公司』を設立 2015年
- 訪問看護を開始し、医療と介護の連携を強化 2016年 (百万円)





介護事業、エンゼルケア事業の双方を持つ当社の強みを活かした新規事業への取組み

「心豊かな人生を」「そして感動の旅立ち」の市場をつなぐ事業モデルを構築

要とないともに る通所介護サービスの進化域

生前準備支援

- ・生活支援サポート (クリーンサービス・介護用具貸与・見守りサービス等)
- ・エンディングノート(元気なうちから準備)
- エンディングセミナー (ケアマネジャー、介護・医療従事者向け)
- ・葬儀相談(自分の求める形での葬儀)

居宅支援(介護の相談窓口)

デイサービス(通常/認知症)

配食(安全な食事)

ショートステイ

訪問介護

訪問入浴

サービス付き高齢者向け住宅(フォーライフ)

訪問看護 (看取り)⇒2016年7月開始予定

心豊かな人生を(介護事業)

介護の到達点 ~感動の旅立ち~

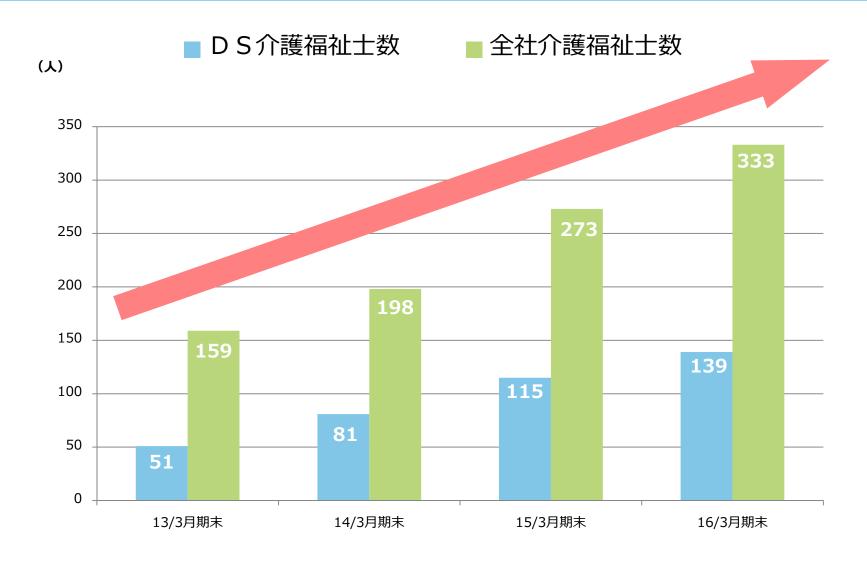
「湯灌サービス」 「お化粧サービス」

> 旅立ち後の支援 〜残されたご家族に〜

「遺品整理サービス」 「遺品供養サービス」 「ハウスクリーン サービス」

そして感動の旅立ち(エンゼルケア事業)





■ 教育・研修の強化により、着実に介護福祉士数が増加

2017年3月期策定中期経営計画 (16-5-20付) 定量目標サマリ



■市場環境の前提

- 社会の高齢化は引き続き進むものの、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	16/3月期 実績	17/3月期 予想	18/3月期 計画	19/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
売上高	(百万円)	8,299	8,581	8,978	9,136	3.2%
介護事業	(百万円)	6,060	6,312	6,615	6,707	3.1%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,684	1,686	1,756	1,827	4.1%
フォーライフ事業	(百万円)	555	583	606	600	1.5%
営業利益	(百万円)	242	283	310	274	-1.5%
経常利益	(百万円)	255	278	304	269	-1.7%
当期純利益	(百万円)	146	158	176	156	-0.5%
主要拠点数						
デイサービス	(拠点)	53	53	53	53	0.0%
エンゼルケア	(拠点)	20	21	22	23	4.7%
フォーライフ※	(拠点)	4	4	4	4	0.0%

[※] 特定施設入居者生活介護の認可を受けております



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での 入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることが ありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は 一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経営企画部 TEL 03-5753-1170 E-mail ir@ care.co.jp